

諮 問 第 2 0 2 7 号
平成 20 年 12 月 11 日



情報通信審議会
会長 庄山 悦彦 殿

総務大臣 鳩山 邦夫

諮 問 書

下記について、別紙により諮問する。

記

Ku 帯 VSAT システムの高度化に関する技術的条件

諮問第 2027 号

Ku 帯 VSAT システムの高度化に関する技術的条件

1 諮問理由

Ku 帯を用いる衛星通信システムである Ku 帯 VSAT (Very Small Aperture Terminal) システムについては、平成元年 1 月電気通信技術審議会答申「VSAT システムの超小型地球局の無線設備に関する技術的条件」に基づき、平成元年 6 月に制度化されているところである。

本システムは、Ku 帯を利用した超小型地球局 (VSAT) を用いるものであり、広域性、同報性及び耐災害性という衛星通信の特徴を活かし、安全・安心を守る防災ネットワーク、デジタルディバイド解消事業等に広く利用されているところであるが、近年、伝送速度の向上及び適用周波数の拡張のニーズが高まってきている。

以上を踏まえ、Ku 帯 VSAT システムの高度化に関する技術的条件について諮問を行うものである。

2 答申を希望する事項

Ku 帯 VSAT システムの高度化に関する技術的条件

3 答申を希望する時期

平成 21 年 4 月頃

4 答申が得られたときの行政上の措置

関係法令の改正に資する。

Ku帯VSATシステムの高度化

参考

背景

- Ku帯(アップリンク14GHz/ダウンリンク12GHz)の周波数を利用した超小型地球局(VSAT:Very Small Aperture Terminal)を用いるシステム。
- 広域性、同報性、耐災害性という衛星通信の特徴を活かし、防災ネットワークなどに広く利用。デジタルディバイド解消にも期待。
- 伝送速度の向上及び適用周波数の拡張のニーズを踏まえ、これらについて検討。

検討事項

1. 伝送速度の向上

数百kbps/MHz(位相変調)

→ 数Mbps/MHz(振幅位相変調の追加)

2. 適用周波数の拡張

12.44~12.75GHz

→ **12.2~12.75GHz**に拡張
(公共業務用固定局との共用検討が必要)

